



DDW-Japan 広報

日本消化器関連学会合同会議
〒104-0061 東京都中央区銀座8-9-13
銀座オリエントビル9階
TEL:03-3573-1254
FAX:03-3573-2198
発行者：中澤三郎
編集責任：DDW-Japan 企画会
印刷：株式会社 杏林舎

DDW-Japan 1997 アンケート 調査報告



日本消化器関連学会合同会議
議長 中澤三郎

DDW-Japan 1997 広報委員 谷村 弘, 内山和久
IHDDW-Japan 総務委員長 下山 孝
DDW-Japan 企画会 谷川久一, 岩崎有良

DDW-Japanは日本の消化器病学の全体としての発展を願って竹本忠良前日本消化器病学会理事長、崎田隆夫前日本消化器関連学会合同会議理事長はじめ関係各位の並々なご熱意とご尽力によって1993年に神戸で賑々の声を上げました。以後、各学会の会長からなる運営委員会とそれにつながる各種委員会のご努力と参加者にお伺いしたアンケートの結果をそのつど参考にして毎年、回を重ねる毎に工夫、改善がなされてきました。その結果、本週も次第に内容も整い盛会になってまいりました。日本消化器関連学会合同会議では更なる充実、飛躍を期して本週間の役割、運営方法等に充分にご理解を頂くとともにご参加の先生方に一層のご支援を賜りたく本合同会議、本週間の現状をご報告申し上げることに致しました。DDW-Japan発展のため先生方のご指導とご協力をお願いする次第です。

「日曜日はやめるべき」との指摘もあった。また、若い世代から「土曜・日曜は実地臨床に直接役立つような教育的な内容の講演を取り入れて欲しい」との希望があった。

3. 参加費に関する意見

DDW-Japan 1995 (横浜) は4日間で30,000円であった。DDW-Japan 1996 (神戸) では会期を1日短縮し25,000円とした。今回は、会期を4日間に戻しても、参加費は25,000円 (事前登録は20,000円) と据え置いた。それにもかかわらず、「今回のままでよい」は232名 (15.2%) にとどまり、988名 (64.7%) はまだ「高い」と指摘している (図3)。特に、若い世代や大学勤務者のなかに「もっと質素にしてその分安くして欲しい」という意見が多かった。

このほか、「1日券を発行すべきである」(315人)、「身分により減免制度を設ける」(154人)などの意見があり、「学会数に応じた料金設定をしてほしい」「25,000円も徴収してその収支を公表すべき」という意見もあった。

また、事前登録で5,000円安くなることについて「事前登録をもっとPRして欲しい」との意見もあり、学会1カ月直前まで事前登録を受け付けるなど改善対策が望まれている。

4. 会場および会期

名古屋国際会議場についての印象は「建物は美しくてもよいが、構造が分かりにくく会場間の移動が大変」「会場までの交通が不便、渋滞がひどかった」「会場周辺に宿泊施設が少なすぎる」など、立地条件の問題点を指摘する声が多かった。

学会会場までの交通手段は、「地下鉄を利用した」が479件、「学会シャトルバス利用」322件、「タクシー利用」が222件と、例年に比べて、学会バスの利用率が高かった (図4a)。

今回は、学会専用バスを混雑が予測される午前8時~10時と夕刻の16時~17時は運行間隔を10分に設定した。それにもかかわらず、バスを利用した人の中で「便利だった」は50.9%に過ぎず、「まだ便数が少ない」との指摘が37.3%もあった (図4b)。「朝の開場前後の便を頻発すべきだ」「JR名古屋駅まで30分前後と時間がかり過ぎ利用しにくかった」などの意見があった。

今回の学会は4日間の開催と1日延長したため、昨年の21会場に比べて5会場減らし、16会場とした。その結果、会場数に関しては「ちょうど良い」が72.3%であったが、まだ「多い」とする先生方が25.6%あった (図5a)。

各会場の広さについては、「ちょうど良い」が360名、「席が足りなかった」が196名であった (図5b)。特に、画像診断や内視鏡手技など実地臨床に即役立つような演題や最先端を行く研究分野での演題は人気が高かった。

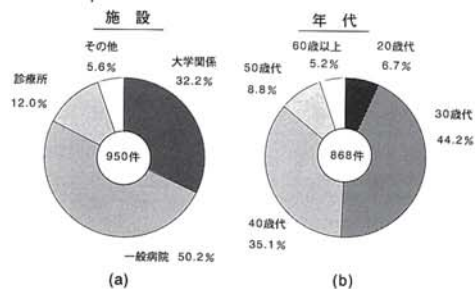
5. 演題内容および演題編成上の問題

演題数については「多過ぎる」と指摘する声も

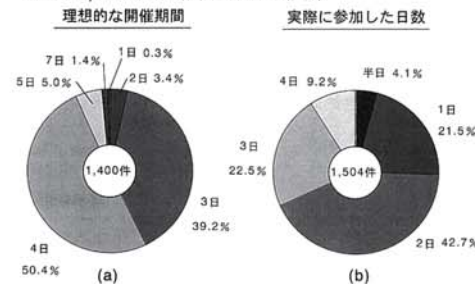
35.2%あった (図6a)。年配の医師や診療所の勤務医にその傾向が強かった。

演題内容については、「ホットや話題を網羅しており評価できる」「タイムリーな内容の演題が多かった」などの賛意を示す意見もあったが、「類似演題が多く、良質の内容に絞るべきだ」「レベルの差が大きすぎる」「聞きたい演題の時間重複が多すぎる」との批判的意見

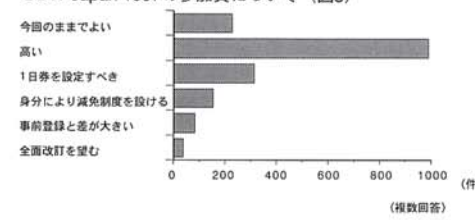
DDW-Japan 1997 アンケート回答者 (図1)



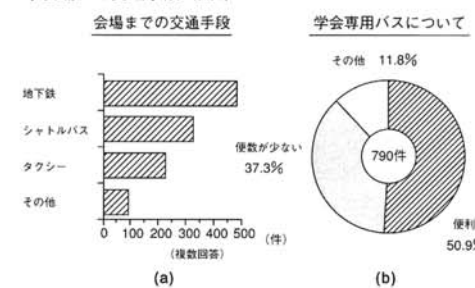
DDW-Japanの開催期間について (図2)



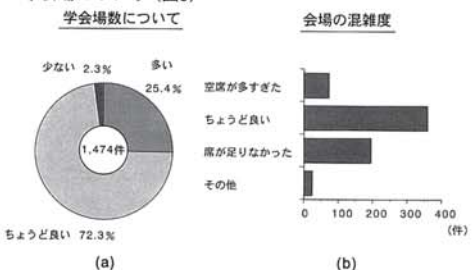
DDW-Japan 1997の参加費について (図3)



学会場への交通手段 (図4)



学会場について (図5)



はじめに

わが国で日本消化器関連学会合同会議 (DDW-Japan) が発足して5年になり、今後のDDWのあり方を再考する目的と、従来の開催地であった横浜市、神戸市から初めて名古屋で開催されたことに対する参加者の印象を含めて、合同会議中に個人アンケート調査を行った。

DDW-Japan 1997は、はじめて週末2日間を会期に入れたこともあって、参加人数は11,435名と過去最高を記録し、DDW-Japanに対する関心は年々高まってきたといえる。

アンケート回答者数は1,526名と少なかったが、今回の特徴として、回答内容に責任を持って頂くため記名式にしたこと、アンケート用紙はDDW資料に同封して会員に配布したものの、回収箱は一箇所で、しかも自主回収にしたことも一因となり全員の声とはいえないが、統計学的には十分に参加者全体の意見を反映していると考えられ、その結果の概要を紹介する。

1. 学会参加者の背景因子

まず、参加者の所属施設について、回答のあった950人中、最も多かったのが一般病院的勤務医で50.2%、次いで大学所属者が32.2%、診療所勤務医は12%であった (図1a)。わが国における病院構成の比率を考慮すると、大学所属者の出席が多いことがわかる。

参加者の年代は30歳代が44.2%、40歳代が35.1%と30歳から49歳までが80%を占め (図1b) 現在研究に従事する者とその直接指導者の年齢層と推測される。

所属学会は、消化器病学会が1,243名、消化器内視鏡学会が1,149名、肝臓学会が602名の順が多かった。

2. DDW-Japanの開催期間

DDW-Japanの開催期間は、DDW-Japan 1996 (神戸) は3日間であったため、参加したい演題の重複が多かったという指摘から、今回は再び4日間に戻した。

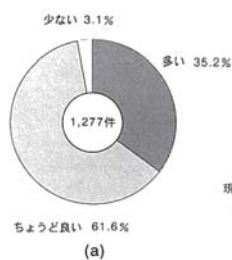
アンケート結果では、4日間が良いとする意見が50.4%と過半数を占め、3日間の39.2%より多く、5日以上希望はほとんどなかった (図2a)。しかし、20代と30代の若い世代や、一般病院や診療所の医師には4日間以上の長期間開催を望む傾向が伺えた。

とはいえ、実際の参加日数は、1日が21.5%、2日間で42.7%、3日間で22.5%であり、4日間すべてに参加できた医師は9.2%と極めて少ない (図2b)。特に診療所の勤務医の半数は1日以下の参加が多いという現実にも配慮すべきであろう。

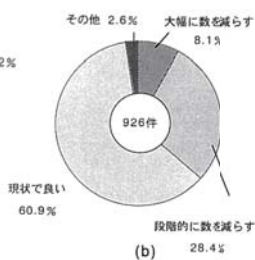
今回、初めて日曜日を会期に組み入れた。特に診療所勤務医から「平日に休めないことが多く、今後も会期に土曜・日曜を組み入れて欲しい」と歓迎された。一方、一部の一般病院勤務医や大学所属の医師からは

演題について (図6)

一般演題数について

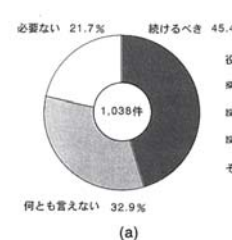


主題について

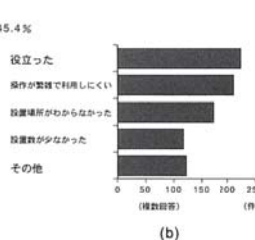


CD-ROMの導入について (図7)

抄録集のCD-ROM化について

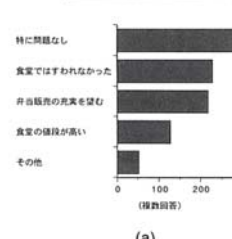


会場内のCD-ROM検索

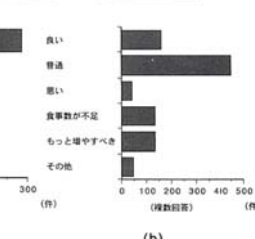


昼食についての対策 (図8)

ランチョンセミナーについて

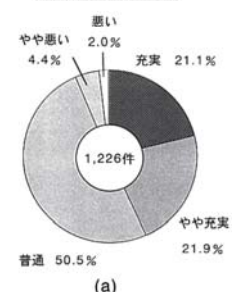


昼食について

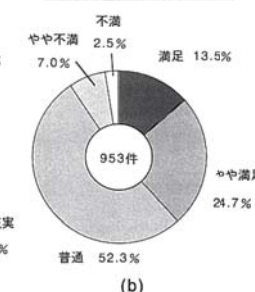


DDW-Japan 1997に対する満足度 (図9)

会場運営について

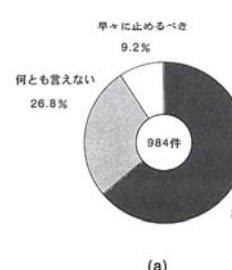


DDW 97に対する満足度

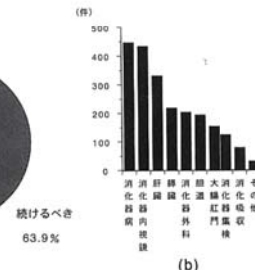


DDW-Japan方式に対して (図10)

DDW方式を存続すべきか



全面参加を希望する学会



見も少なくなかった。

次回からのDDW-Japanに対する希望として、「教育的な内容を増やして欲しい」「一般演題はポスターに統一してはどうか」「基礎系と臨床系の演題を分けて欲しい」「ビデオセッションをもっと増やすべき」などの提案があった。ただし、「演題が各臓器の専門学会にまわされるのが不満」とする意見に対しては、今回のDDW-Japan 1998 (横浜) からは希望する学会で発表できることになった。

シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどの主題については、「現状でよい」とするものが60.9%を占めたが、「主題の数を減らすべき」との考えも36.5%もあった (図6b)。

内容についての意見は「演題の選択を公平にすべきだ」「フロアとの討論も取り入れるべき」「臨床的な主題を増やして欲しい」「主題に内容の重複が多い」などの指摘があった。

教育講演については、「充実していた」14.2%、「やや充実」20.4%で、「普通」が57.9%であった。一方、「やや悪い」は5.1%、「悪い」は2.3%と少なかったが、その不満点を列挙すると、「文字通り教育的な内容にして欲しい」「教育講演は土日にすべき。一般臨床医は平日に休めない」「基礎的事項よりも実地臨床に直接役立つものにしてはどうか」「内容が難しくまた偏りがある」などの意見であった。

6. 合同抄録集のCD-ROM化の試み

今回、DDW-Japanとしては初めての抄録のCD-ROM化を行った。その反響は、「これからも続けるべき」が45.4%、「なんともいえない」が32.9%、「必要ない」が21.7%であった (図7a)。「必要ない」のなかで多かったのは、「CD-ROMをいただいてもそれに合うハードがない」「全員に配布する必要はなく、希望者に有料で販売し、参加費を下げるべき」など保守的な意見であった。

また、会場内にもCD-ROM検索を置き、会員の便宜を計ったが、これについて「設定した」のが224件、「操作が複雑で利用しにくかった」211件、「設置場所がわからなかった」171件、「設置数が少なかった」118件で、今回に限っては会場での利便性は少なかったようだ (図7b)。「研究室や自宅では有用だが会場内での設置は不要」「抄録集で十分」「コンピューターに不慣れなので役立たなかった」という意見に表れている。

しかし、今回初めて学会開催前にインターネットにて会員の先生方に学会情報を提供したが、利用者からは「非常に便利だった」「もっと充実させて欲しい」「抄録もインターネットで募集して欲しい」など建設的な意見が多かった。

7. ランチョンセミナーと昼食の問題

学会開催時の昼食確保は大きな問題である。最近では、学術情報と昼食を兼ねるランチョンセミナーの開催が常に要求される。特に名古屋国際会議場は近隣に飲食施設がないことから、ランチョンセミナーをDDW-Japan 1996の11件から14件に増設した。それにもかかわらず、すべて満席の状態で、さらに「食事の数が足りなかった」135件、「ランチョンセミナーをもっと増やすべき」135件、とさらに増設を希望する意見が多かった (図8a)。また、「整理券を配るなど、長時間行列をしなくてもよいような配慮が必要」「サテライトシンポジウムの代わりにランチョンセミナーを増やすべき」などと昼食確保が目的の意見が多かった反面、「弁当目的が多すぎる」「有料にしてもよい」「昼食とは切り離して、本来の学術的な目的に戻すべ

き」という学術尊重意見も少なくなかった。

ランチョンセミナーに参加できなかった多くの学会参加者は、昼食を食堂や弁当に頼ることになったが、「食堂はなかなか座れなかった」230件、「もっと弁当販売を充実させて欲しい」219件、「食堂の値段が高い」129件など不満が多かった (図8b)。事実、弁当が12時にはすでに売り切れた日もあった。

8. DDW-Japan 1997(名古屋)に対する満足度について

会場運営全般についての印象は、「充実していた」21.1%、「やや充実」21.9%、「普通」50.5%であり (図9a)、今回のDDW-Japan 1997に対する満足度は、「満足であった」13.5%、「やや満足であった」24.7%、「普通」52.3%であり、「やや不満」7.0%、「不満」2.5%はごく少数であった (図9b)。

これらの全般的に印象がよくなかったとか不満であったとする主な理由は、会場の立地・構造上の問題、参加費、交通関係、昼食に対する問題がほとんどであり、その他運営上の不満としては、「矢印看板が少ない」「会場の場所表示が分かりにくい」「ドリンクサービスが少ない」「学会ごとに会場を近くして欲しい」「会場内は禁煙にすべきである」「携帯電話は迷惑だ」などであった。

9. 今後のDDW方式について

本会の主旨は開催側と参加側双方の経済的負担の軽減と、効率的な情報交換や研修を計ることにあり、一方、参加学会の独自性はあくまで尊重されなくてはならず、今年で5年という節目を迎え、そのあり方について再考する時期にきている。

参加者の意見をまとめると、「このままDDW方式を続けるべき」が63.9%で、「なんともいえない」26.8%であり、「早々に止めるべき」は9.2%にすぎない (図10a)。DDW方式の賛成意見は「学会のスリム化や重複演題の削減に有効」「一度に多数の学会に参加できる」「一度の参加で認定医更新ができる」「加入学会以外の学会も聴講できる」「消化器系の学会はすべてDDWに統一すべきだ」などDDWの主旨がよく理解されていた。一方、DDW方式に懐疑的な意見は「招待者が多く、一般会員の経済的負担が増える」「一学会にのみ参加する者への経済的配慮がない」「日程が長くなり、勤務に支障をきたす」「合同開催の意義が生かされていない」など、特に参加費の高額化への批判が目立った。

全面参加を希望する学会としては、現在参加している5学会に加えて、今回部分参加の消化器外科学会や大腸肛門学会を望む意見があった (図10b)。

DDW-Japanは各領域の講演を広く拝聴できるというメリットがあり、これには講演の重複を可能なかぎり排除しスリム化することが必要と考える。しかし、参加各学会の独自性を尊重することが基本理念であることから、すべてを一本化することには障害も少なくなく、今後の課題ともいえよう。

- 第33回 日本肝臓学会総会 会長 川崎寛中
 - 第53回 日本消化器内視鏡学会総会 会長 鈴木 茂
 - 第33回 日本胆道学会総会 会長 谷村 弘
 - 第83回 日本消化器病学会総会 会長 中澤三郎
 - 第28回 日本脾臓学会大会 会長 早川哲夫
- 部分参加
- 日本消化器吸取学会 会長 荒川泰行
 - 日本消化器集団検診学会 会長 金子榮藏
 - 日本消化器外科学会 会長 比企能樹
 - 日本大腸肛門病学会 会長 福島恒男

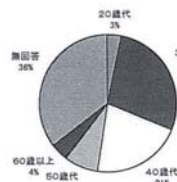
DDW-Japan 1996 Kobe アンケート集計

DDW-Japan 1996 Kobe のアンケート集計結果は以下の通りとなりました。
ご協力ありがとうございました。

1. 回答者について

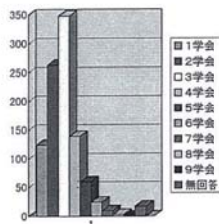
回答者年代

年代	人数
20歳代	32
30歳代	279
40歳代	208
50歳代	79
60歳以上	41
無回答	348
回答者合計	987



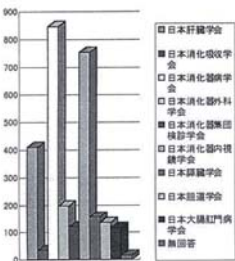
入会している学会数

学会数	人数
1学会	124
2学会	263
3学会	348
4学会	139
5学会	60
6学会	24
7学会	9
8学会	3
9学会	0
無回答	17
合計	987



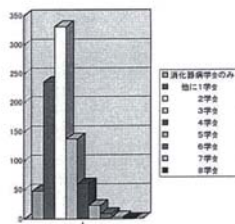
所属されている学会

学会名	人数
日本肝臓学会	410
日本消化器学会	35
日本消化器病学会	846
日本消化器科外科学会	198
日本消化器内視鏡学会	120
日本消化器内視鏡科学会	754
日本胆膵学会	156
日本胆道学会	117
日本大腸肛門病学会	16
無回答	2787



消化器病学会員でほかに入会している関連学会

学会名	人数
消化器病学会のみ	48
他に1学会	235
2学会	331
3学会	137
4学会	90
5学会	23
6学会	9
7学会	3
8学会	0
合計	846



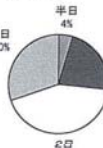
2. 開催期間について (今回は3日間ですが)

もっと長く	127
ちょうど良い	738
もっと短く	65
合計	930



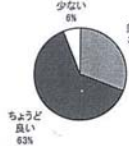
3. 先生は開会期間中何日出席されましたか

半日	42
1日	216
2日	417
3日	292
合計	967



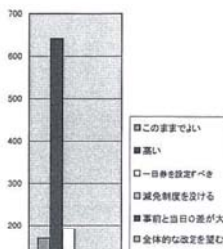
4. 参加学会数について

多い	293
ちょうど良い	601
少ない	58
合計	952



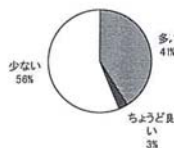
5. 参加費について

このままでよい	166
多い	642
一日分を設定すべき	190
減免制度を設ける	90
事前と当日の差が大	40
全体的な改定を望む	29
合計	1160



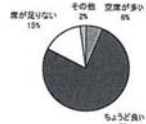
6. 会場の数について

多い	391
ちょうど良い	25
少ない	533
合計	949



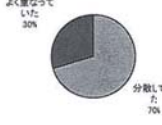
7. 会場設定について

空席が多い	53
ちょうど良い	870
席が足りない	135
その他	19
合計	877



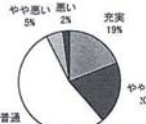
8. 時間帯について

分散していた	554
よく集っていた	235
合計	789



9. 会場運営についてどうでしたか

充実	169
やや充実	177
普通	484
やや悪い	47
悪い	19
合計	896



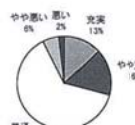
10. 演題数について

多い	189
ちょうど良い	177
少ない	484
合計	850



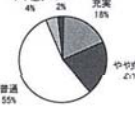
11. その他プログラム (一般演題) についてはどうでしたか

充実	112
やや充実	127
普通	340
やや悪い	49
悪い	16
合計	644



12. プログラム (合同) についてはどうですか

充実	117
やや充実	134
普通	354
やや悪い	29
悪い	12
合計	646



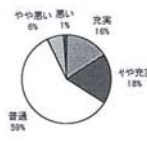
13. シンポジウム, パネル, ワークショップにつき何か

大幅に数を減らすべき	41
段階的に減らすべき	182
現状でよい	386
その他	19
合計	628



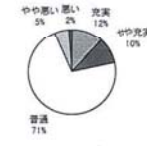
14. 教育講演について

充実	84
やや充実	111
普通	357
やや悪い	35
悪い	9
合計	600



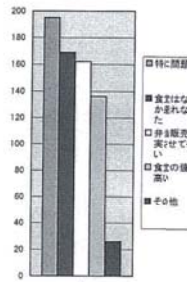
15. 商業展示についてはどうでしたか

充実	58
やや充実	58
普通	424
やや悪い	31
悪い	9
合計	590



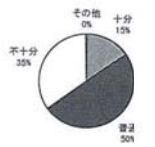
16. 食事について

特に問題なし	195
食事はなかなか取れなかった	169
弁当販売を充実させて欲しい	162
食室の値段が高い	136
その他	26
合計	688



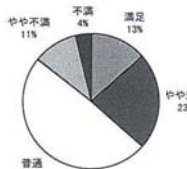
17. 休憩所について

十分	98
普通	320
不十分	223
その他	3
合計	644



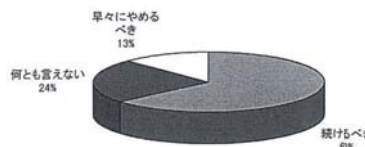
18. 今回のDDWは全体的に満足いくものでしたか

満足	84
やや満足	146
普通	312
やや不満	67
不満	25
合計	634



19. DDW方式は今後も続けるべきですか

続けるべき	403
何とも言えない	149
早くにやめるべき	79
合計	631



- 第51回 日本消化器内視鏡学会総会 会長 梅田典嗣
- 第32回 日本胆道学会総会 会長 大井 至
- 第82回 日本消化器病学会総会 会長 小林絢三
- 第27回 日本痔瘻学会大会 会長 斎藤洋一
- 第32回 日本肝臓学会総会 会長 山中正己

- 部分参加
- 日本消化器外科学会 会長 遠藤光夫
 - 日本消化器集団検診学会 会長 小黒八七郎
 - 日本大腸肛門病学会 会長 小平 進
 - 日本消化吸収学会 会長 正宗 研